

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 3

団体名	O-garu(オーガル)			
事業名	O-garu 家庭でもできる！親子体験講座			
実施期間	令和2年6月上旬～令和3年3月上旬			
事業の目的及び期待する効果	<p>体験講座を通して、子どもの自己肯定感を高めるとともに、家庭教育を考えるきっかけを作ることができると考えているため、広く周知して、なるべく多くの親子に参加してもらいたいと考えている。</p> <p>コロナ禍にあり、人数を制限せざるを得ない状況だが、感染症対策をしっかりとりながら取り組んでいきたいと考えている。しかし、不特定多数の参加者が集まるフェスはやむなく中止とした。</p>			
実施額	事業費	185,000円(申請時)	助成額	135,000円(申請時)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験講座 6回開催済み(うち1回は助成対象外)、今後1回(助成対象外)開催予定 ○製作体験講座 5回開催済み、今後1回開催予定 ○その他講座 2回開催済み(うち1回は助成対象外)、今後開催予定なし 			

○事業の日程について<実施済み分>

2 / 3

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
6月27日(土)	「おもいっきりあそぼう！」(自然の中でおもいっきり体を動かして遊んだ)	親子12人	5組12人
7月12日(日)	「ネイチャーゲーム」(自然を活用したさまざまなアクティビティを行った)	親子12人	3組7人
7月26日(日)	「自然の中でぬりえ」(自然を観察した後に草花を使ってぬりえをした)	親子12人	4組9人
8月17日(月)	「革のペンケース」(革を選ぶところからはじめ、自分で裁断し縫ってオリジナルペンケース作製)	親子12人	5組12人
8月29日(土)	「川であそぼう」(なえぼ公園の川で魚をとったり観察をした)	親子12人	3組7人
9月5日(土)	「ネイチャーゲーム」(自然を活用したさまざまなアクティビティを行った)	親子12人	3組7人
9月26日(土)	「落ち葉アート」(公園を散策しながら落ち葉などを拾い、スタンドグラスアートなどを作った)	親子12人	4組10人
10月17日(土)	「アウトドアクッキング」(親子で畑で収穫したものを、火をおこして調理した)【助成対象外で開催】	—	10組 30人
10月18日(日)	「立体めいろ」(ミニブロックを使って立体的な迷路を組み立てた)	親子12人	5組15人
11月7日(土)	「絵を描いてたのしもう」(プラバンなどを使ってオリジナルのキーホルダーを作った)	親子12人	3組9人
11月8日(日)	「リサイクル工作」(お菓子の包装紙などを使って蝶々を工作した)	親子12人	5組15人
12月26日(土)	「絵本とこな」(石臼などを使って「こな」について学んだ)	親子12人	5組12人
12月27日(日)	「しめ縄づくり」(しめ縄の由来や意味などを学びながら、親子でしめ縄を作った) 【助成対象外で開催】	—	5組14人

○事業の日程について<実施予定分>

3 / 3

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
1月30日(土)	「カレンダーづくり」(磁石をつかって1年中使えるカレンダーを作る)	親子 12人	—
2月27日(土)	「雪あそび」(雪の中でいろいろな遊びをする) 【助成対象外で開催】	—	—

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

イベントや体験フェスが中止になり、家庭や親子での体験活動の場が奪われている中、オーガルの講座は小規模で対策をしやすい実施した。人数制限していることもあるが、毎回申し込みも多く、繰り返しての体験によって多くの体験と学びが家庭でも実感している様子が伺える。保護者の方からも好評で、今後も親子で体験と学びを深めていきたいとお話も頂いている。今後もできる限りの講座を実施していきたいと考えている。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

外に出る機会を失ってしまったので、オーガルの講座に参加し、日ごろ家ではなかなか学べないことを楽しく学ぶことができたり、いろいろな体験ができることに、多くの保護者は感謝していた。家に居るだけだと、何をしたいかわからないという声も多くあったので、改めて親子で楽しく学びながら何かを体験することの大切さを感じた。

オーガルフェスタは、やってほしいと要望があったが、不特定多数のものになることから断念した。

3. 今後の事業について

次年度以降も、同じように毎月の講座を行っていきたい。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等